

「ボクとママ」

ボクは ママのことを ずうっとしてよ。
それも うまれたときからね！

ママは ボクと くるまをはしらせてあそぶのが たのしいみたい。
もちろん、ボクもだよ。ママが きちんと おかたづけするならね！
おわったら ボクのおもちゃばこに きれいに しまわなくちゃ！

「びゅんびゅ〜ん！」

ボクのママは おしゃれさん。
たまに くちべにをつけるとき、
「ボクもつきたい」というと かしてくるんだ。
でも、おようぶくを おしゃれにしてあげるのは ダメみたい…

おかいものときは いつもいっしょに いくんだ。
「おこめと、おやさいと、くだものと… あれ、これでぜんぶかなあ？」
ボクは にもつをはこぶのも とくいだよ！
せいせいどんもまかせて！ おかしのぶくろも すっからかん！

おてんきなひは フランコで あそぶんだ。
どっちのほうか たかいかな？
ママは ボクが おしてあげるんだ。そうじゃないと ボクにはかてないから
ね！

「それいけ！」

やまのほいも すきなんだ！
できるだけはやく くもよしもたかく のぼっていくよ！
てっぺんについたら、ママが キスを してくれるんだ。

じつは、ボクは おうまさんにのるのも おてのもの！
「ぽからっ ぽからっ ひひ～ん！！」
「いけいけ～！ ママ、もっともっとはやく！」

ボクが どこか わかるかな？
ママにも だれにも みつかからない！

そして… ぼあ！！
わはは！びっくりにしたでしょ！

ボクは みずやりも 得意だよ！
でも おかしいなあ？
いつもかならず あめが ふってくるんだ。

ボクのママは いつも やさしいよ。
けれど、おこると すごく こわいんだ！
そしたら なんでおこっているのか おしえてくれるんだよ。
それも、とっても ながいじかんね…

ボクは おおぞらを とびたいんだ。
「ほんとうにやりたいとおもったことだったら なんだってできるのよ。」
って、ママがいつてる。
ボクも そうおもうな！ だってほら、ボクは こんなにもじょうずに とべるん
だ！
でも、どうやら ママは ボクを はなせないみたいだけどね。

ねるまえに ママが ボクのスポンから おほしさまをとってくれるんだ。
そうしたら ママと ハグをして おほしさまにいうんだ。
「おやすみなさい そして またあした！」